心臓ＣＴ同意書

予約日時	月　日　時　分

患者氏名

生年月日　　年　月　日　　年齢　　歳　性別

造影検査には、3か月以内のクレアチニン値が必要となります。
1.2ｍｇ/ｄL以上の場合は検査が出来ない事があります。

クレアチニン値	mg/dL
年　月　日	

【検査当日】

正面玄関の受付を済ませ、**予約時間の30分前**までに、中央処置室にお越し下さい。

※検査時間を確認し、検査の2時間前から絶食してください。
※検査前１２時間はカフェイン製品を摂らないで下さい。
※メデット及びメトグルコ錠・メトホルミン塩酸塩錠（血糖を下げる薬）の使用は、
当日の朝と検査後48時間（2日間）は服用中止してください。
※ 心臓や血圧の薬のある方は、午前6時までに100mlの水で飲み、他の薬は持参してください。

検査前準備として必要に応じβ遮断薬を内服していただきます。
内服から1時間経過後、心拍が安定してから検査を行います。
心拍の状況によっては順番が前後する場合がございますが、ご了承ください。

<<造影剤の説明を読み、下記項目についてボールペンでご記入下さい。>>

・現在、気管支喘息の治療中である　（ はい ・ いいえ ）
・現在、甲状腺の病気がある　（ はい ・ いいえ ）
・花粉症、アトピーなどのアレルギー体質である　（ はい ・ いいえ ）
・褐色細胞腫又はマクログロブリン血症、多発性骨髄腫、テタニーと診断されたことがある　（ はい ・ いいえ ）
・重篤な心障害または肝障害、腎機能障害がある　（ はい ・ いいえ ）
・現在、妊娠中もしくは妊娠の可能性がある　（ はい ・ いいえ ）
・飲み薬や注射薬でアレルギーを起こした事がある　（ はい ・ いいえ ）
どのような？【悪心 ・ 嘔吐 ・ 発疹 ・ 蕁麻疹 ・ 冷汗】　その他（　　）
・今まで造影剤を使用した検査を受けた事がある　（ はい ・ いいえ ）
・以前に造影剤でアレルギーを起こした事がある　（ はい ・ いいえ ）
どのような？【悪心 ・ 嘔吐 ・ 発疹 ・ 蕁麻疹 ・ 冷汗】　その他（　　）
・持病はありますか？（特に糖尿病など）　（ はい ・ いいえ ）
（　　）
・バイパス手術を受けた事がある　（ はい ・ いいえ ）
・植え込み式除細動器を装着している　（ はい ・ いいえ ）
・β遮断薬使用の禁忌と言われた事がある　（ はい ・ いいえ ）
・ニトログリセリン使用の禁忌と言われた事がある　（ はい ・ いいえ ）

◆身長・体重はどの位ですか？（造影剤の量を決めるので、必ず記入して下さい）

身長　　cm　体重　　kg

記入日　　年　月　日

検査依頼(説明)医師署名

この用紙を熟読し、理解した上でCT造影検査を受ける事に同意します。

記入日　　年　月　日

本人署名(自署)

患者さん本人が18歳未満の場合や意識障害、病状等により同意・署名出来ない場合は代諾者署名をお願いします

代諾者署名(自署)　　(続柄　　)

＜＜造影剤検査を受けられる方＞＞

【造影剤についての説明】

造影剤とは、血管に注射をして、血管や様々な臓器を見やすくする薬です。
病気の有無や病気の性質、範囲といったことをより正確に評価するために用いられるものです。
造影剤を使うと稀に副作用が起こることもあります。
副作用の種類は次のようなものです。

１．軽い副作用　：　吐き気、動悸、頭痛、かゆみ、くしゃみ、発疹など。
このような副作用は、治療を要さないか、１～２回の投薬や注射で回復するものです。
起こる確率は、約１００人につき５人以下です。

２．重い副作用　：　呼吸困難、意識障害、血圧低下、腎不全など。
このような副作用は、通常治療が必要で、場合によっては後遺症が残る可能性があります。
そのため、入院や手術が必要なこともあります。
起こる確率は、約１千～１万人につき１人の割合です。

３．病状、体質によっては、約２０～４０万人につき１人の割合で、死亡する場合もあります。

４．造影剤を注射する時には体が熱くなることがありますが、直接の刺激であり心配ありません。
勢いよく造影剤を注入するために、血管外に造影剤が漏れることがあり、注射した部分が
はれて、痛みを伴うこともあります。基本的には時間がたてば、吸収されて心配ありません。
漏れた量が非常に多い場合には、別の処置が必要となることもありますが、非常に稀です。

当院では検査中、担当スタッフが患者様の様子を観察しており、万一の副作用に対しても
すばやく対応ができるようにした上で検査を行っています。もし変だと感じたら、ためらわず、
すぐにおっしゃってください。

＜＜造影剤検査後について＞＞

尚、ご自宅に帰宅しましたら、お水やお茶など水分を出来る範囲で多めにおとり下さい。
食事は通常通りとられてかまいません。

造影剤の薬剤は、約２４時間経てば、ほぼ尿として排泄されますが、投与量の0.01%未満が血液に浸透されます。

造影剤投与後の授乳による乳児への有害性を示す報告はありませんが、授乳制限を特に希望される場合は24～48時間程度を目安に搾乳して廃棄してください。

また、副副作用の出現は検査１０分以内がほとんどです。検査直後、症状が無ければ副作用の心配は、まず無いと思いますが、ごくまれに数時間から数日後（多くは二日以内）に、発疹、かゆみ、吐き気、めまいなどの副作用が現れることがあります。これらの症状が出現した場合は当院にご連絡下さい。

※ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

キッコーマン総合病院
電話番号　04-7123-5911